



Title	システム増強に際して
Author(s)	高木, 修二
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1970, 4, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/65131">https://hdl.handle.net/11094/65131</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## ◎ システム増強に際して

大阪大学大型計算機センター長 高木修二

かねて予告していましたが、昭和45年度予算としてレンタル料の増額が認められ、システムが増強されることになりました。もっとも、増額されたとはいえ、まだ年間7500万円であり、センターの当初計画はもちろん、他大型センターに比べても、まだ不十分ではあります。しかし、ともかく、この予算増に伴い、新たに NEAC 2200 / 500 システムをもう一式設置することとなり、9月中旬より搬入を始め、10月16日より稼動を開始しました。これにより、処理能力がいくらかは増大する予定です。今回のシステムの運用については特に短時間で且つ小さい計算のターンアラウンド・タイムを短くするようにしようという方針を取っています。例えば、午後5時までは131K字未満のジョブを主として処理し、アウトプットは従来のもののように一旦磁気テープに収めることをせず、直接ラインプリンターに出力する、などの方法をとることにしています。また、従来のシステムは午前中を TSS 時間帯とし、午後はバッチ処理で月・水・金曜日は終夜運転を行ない翌朝午前6時まで、火・木曜日は午後10時まで運転を行なっていますが、新しく増設したシステムはバッチ専用とし、これについても11月2日より旧システムと同じく週3日の終夜運転を開始しました。

システム増強に際して建物の増築が認められませんでしたので、パンチ室を移動するなどし、ユーザーの方々に御迷惑をかけただけでなく、非常に狭くなつて何かと不便な点があるかと思いますが、止むを得ない処置として御了承下さい。

センターの現在の処理能力では到底大阪地区ユーザーの要求を満すことができないことは以前からわかつっていましたので、3年程前から増強の要求を出していましたことは既に御報告したと思います。いろいろな事情で増強が認められるのが遅っていました。しかし、ようやく増強が認められる気運になってきましたので、早急に他大学センターなみの予算が承認されることをセンターでは期待しています。その時は新鋭のシステムを導入して、処理能力を更に増大できると思います。おそらく、それでも不十分であると思いますが、現在よりは事情が良くなるはずですし、また、そのように努力するつもりであります。